



平成26年9月30日

各 位

上場会社名 イビデン株式会社
 代表者 代表取締役社長 竹中 裕紀
 (コード番号 4062)
 問合せ先責任者 財務部長 佐野 尚
 (TEL 0584-81-3111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年4月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	150,000	8,000	7,000	4,000	28.97
今回修正予想(B)	150,000	9,000	11,200	6,500	47.07
増減額(B-A)	—	1,000	4,200	2,500	
増減率(%)	—	12.5	60.0	62.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	151,551	10,912	12,764	8,585	62.25

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	330,000	25,000	24,000	16,500	119.49
今回修正予想(B)	315,000	18,000	20,000	11,000	79.66
増減額(B-A)	△15,000	△7,000	△4,000	△5,500	
増減率(%)	△4.5	△28.0	△16.7	△33.3	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	310,286	23,442	28,401	17,479	126.58

修正の理由

平成27年3月期第2四半期(累計)の業績につきましては、パソコン市場及び欧州乗用車市場が堅調に推移した事により、パソコン用パッケージ基板及びセラミック事業は、売上高及び営業利益共に年初予想を上回る見通しです。また、円安による為替差益の営業外収益での計上が見込まれるため、経常利益及び当期純利益につきましても、年初予想を上回る見通しです。

しかしながら、当下半期のプリント配線板事業におきましては、イビデンエレクトロニクスマレーシア第2棟の立上げ費用が、年初計画以上に増加する見通しです。また、競合他社との競争激化により、年初に計画しておりました製品受注が難しくなっております。

このような状況下、上記の通り、平成26年4月30日に公表いたしました平成27年3月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想を修正いたします。

(注)業績予想に関する留意事項

上記業績予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

以上